

主力の「ロイヤルブレッド」「ダブルソフト」「ゴールドシリーズ」が好調。サンドイッチ用食材食パンも寄与

	第1四半期	第2四半期	上半期	単体売上高前期比	平均単価	数量
連結売上高（前期比）	237億円（101.6%）	271億円（100.4%）	508億円（101.0%）	102.8%	1.4%上昇	1.3%増加

※平均単価、数量は単体実績

## ロイヤルブレッド (100億円、106.2%)

- ・最上級粉を使用した「ロイヤルブレッドプレミアム」を3月に発売。ブランド力を強化して売上好調。

## 超芳醇 (59億円、87.0%)

- ・ブランド一本化した「超芳醇」はやや苦戦も、「芳醇」後継ブランドの「スイートブレッド」が伸長。「超芳醇」+「スイートブレッド」で前年割7。

## ダブルソフト (39億円、101.6%)

- ・昨年2月、最上級粉を使用し品質向上。高伸長した昨年を上回る。

## ふんわり食パン (27億円、89.5%)

- ・9月より乳酸菌入りの健康志向の製品としてリニューアル発売。

## 低価格帯食パン群 (91億円、82.1%)

## 「ゴールド」シリーズ (37億円、231.9%)

- ・「レーズン」「チーズ」「チョコ」の3品が、本物志向の小型バラエティ食パンとして、お客様から高い支持をいただき好調。

## 食材食パン (67億円、121.1%)



※各製品の（ ）内は山崎製パン単体での売上高と前期比